

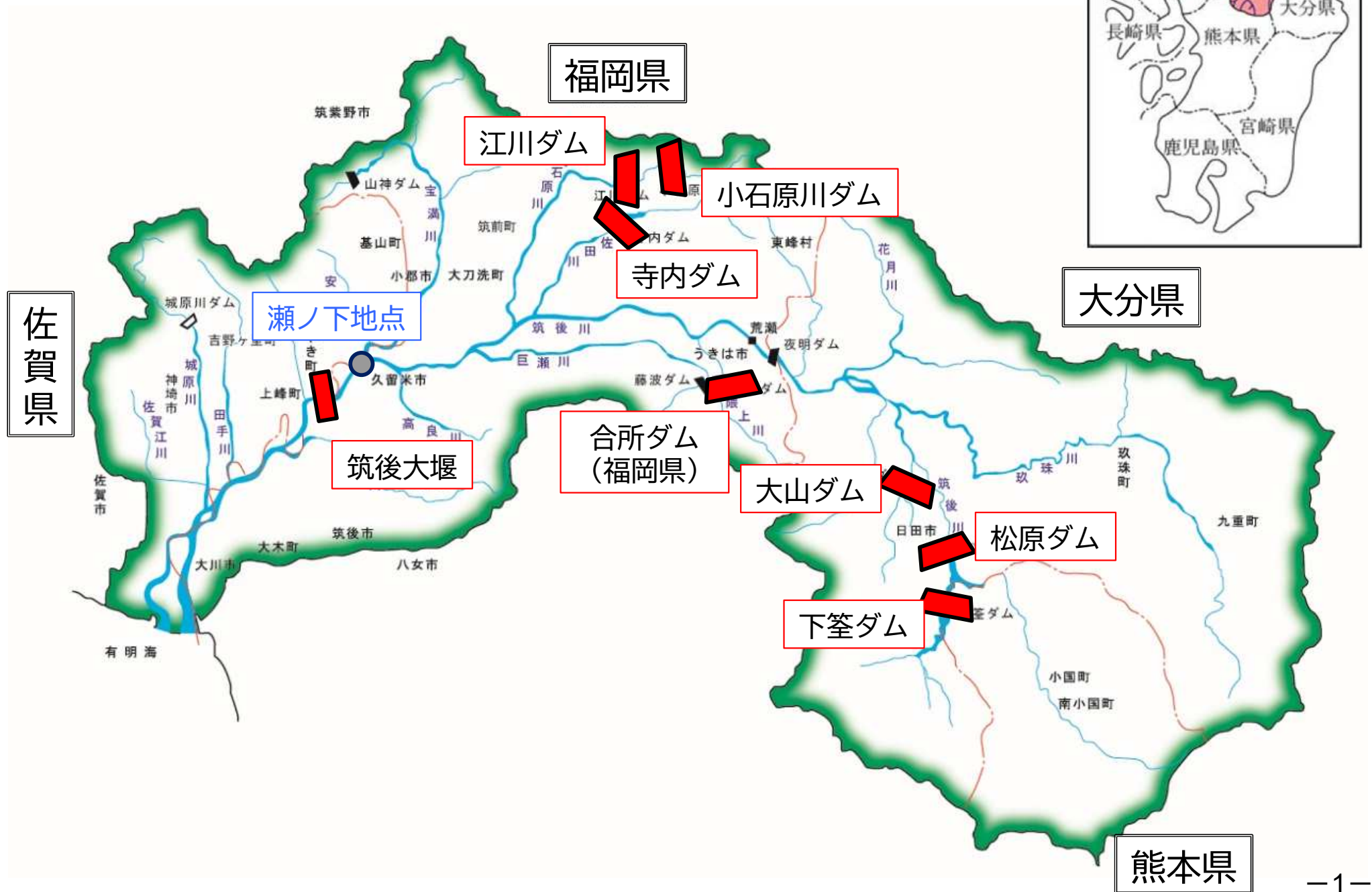
令和 7 年度 第 4 回筑後川水系渇水調整連絡会

筑後川の水状況について

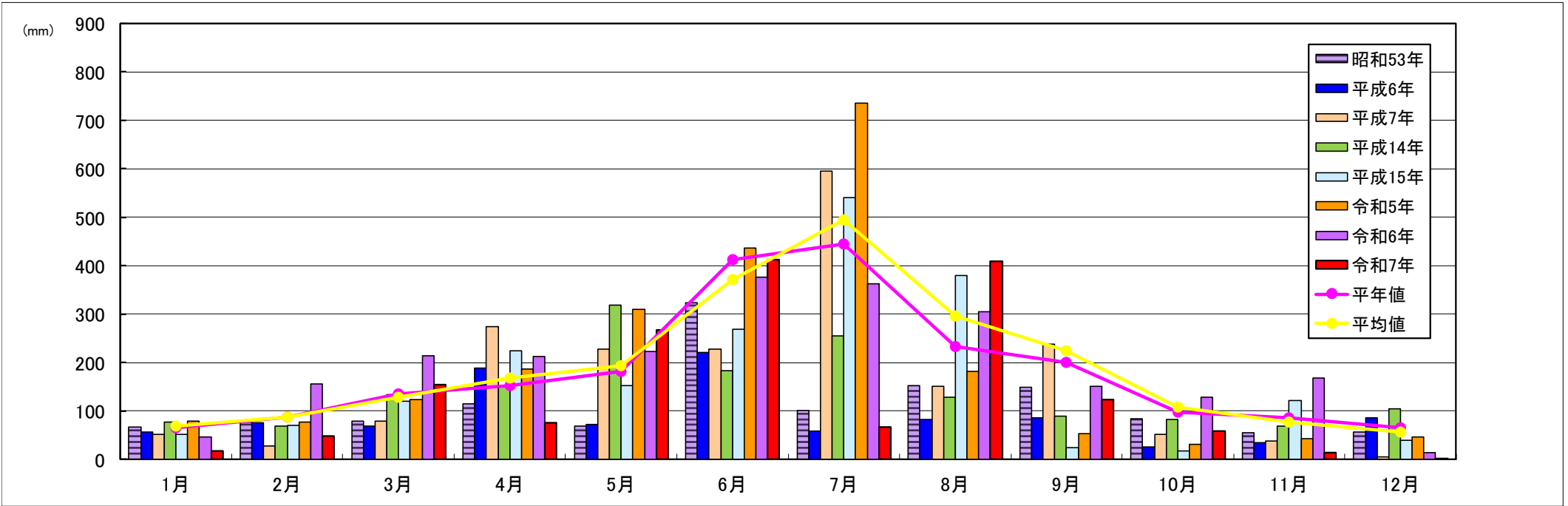
令和7年12月11日

筑後川水系渇水調整連絡会
事務局

筑後川流域内施設位置図

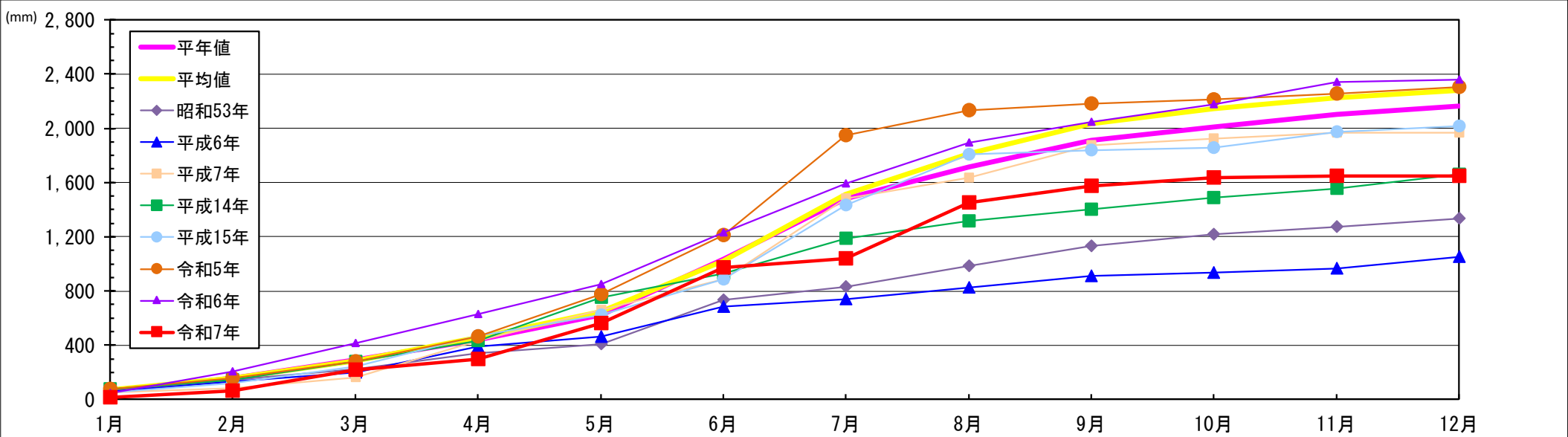


筑後川(瀬ノ下上流域)平均月別雨量図



単位:ミリ													
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平年値	66.2	87.9	134.7	152.9	181.5	412.5	445.1	232.6	201.3	98.0	86.6	65.4	2,164.8
平均値	69.7	87.5	129.5	168.1	194.3	371.2	495.1	296.5	224.5	108.8	77.4	57.3	2,228.2
昭和53年	68.0	76.9	78.9	115.1	68.2	323.2	102.0	152.3	150.1	84.0	55.6	57.4	1,331.7
(平年比)	102.8%	87.5%	58.6%	75.3%	37.6%	78.4%	22.9%	65.5%	74.6%	85.7%	64.2%	87.7%	61.5%
平成6年	56.6	75.4	68.5	188.7	72.8	220.3	58.3	82.1	86.2	26.3	34.3	85.5	1,055.0
(平年比)	85.6%	85.8%	50.8%	123.4%	40.1%	53.4%	13.1%	35.3%	42.8%	26.8%	39.6%	130.6%	48.7%
平成7年	51.5	28.7	79.3	273.9	228.6	227.4	594.8	150.5	238.9	52.1	38.3	5.7	1,969.7
(平年比)	77.9%	32.6%	58.9%	179.2%	126.0%	55.1%	133.6%	64.7%	118.7%	53.1%	44.2%	8.7%	91.0%
平成14年	77.6	68.7	133.6	150.7	319.0	182.8	254.4	128.0	89.6	81.9	69.5	104.8	1,660.6
(平年比)	117.3%	78.1%	99.2%	98.6%	175.8%	44.3%	57.2%	55.0%	44.5%	83.5%	80.2%	160.1%	76.7%
平成15年	52.4	70.0	121.0	225.0	152.0	269.0	541.0	380.0	25.0	18.0	122.0	40.0	2,015.5
(平年比)	79.2%	79.6%	89.8%	147.2%	83.8%	65.2%	121.5%	163.4%	12.4%	18.4%	140.8%	61.1%	93.1%
令和5年	78.4	77.0	123.7	187.1	310.3	436.4	735.3	182.3	53.3	30.6	43.8	46.3	2,304.5
(平年比)	118.5%	87.6%	91.8%	122.4%	171.0%	105.8%	165.2%	78.4%	26.5%	31.2%	50.6%	70.7%	106.5%
令和6年	46.1	156.6	213.4	212.0	223.2	376.7	362.3	304.5	151.6	129.2	168.4	14.6	2,358.6
(平年比)	67.8%	203.6%	270.5%	184.2%	327.3%	116.6%	355.2%	199.9%	101.0%	153.8%	302.9%	25.4%	109.0%
令和7年	18.1	48.6	154.0	75.2	266.6	412.0	66.7	409.6	123.5	59.3	14.5	0.4	1,648.5
(平年比)	27.4%	55.3%	114.3%	49.2%	146.9%	99.9%	15.0%	176.1%	61.3%	60.5%	16.7%	0.6%	76.2%

筑後川(瀬ノ下上流域)平均累加雨量図



単位:ミリ

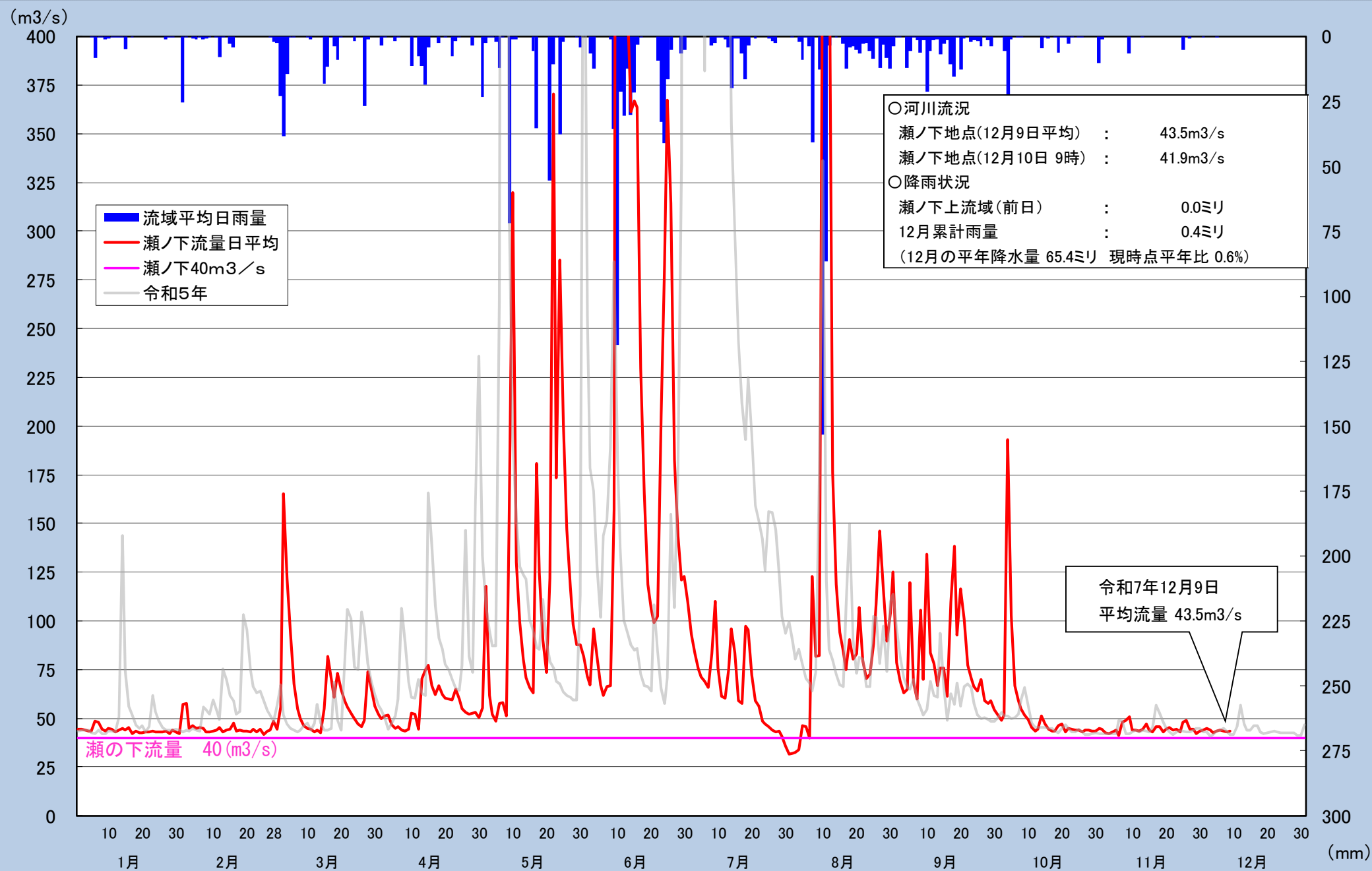
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平年値	66.2	154.1	288.8	441.7	623.1	1,035.6	1,480.7	1,713.3	1,914.7	2,012.7	2,099.3	2,164.8	2,164.8
平均値	69.7	157.2	286.7	454.8	649.1	1,020.3	1,515.4	1,811.9	2,036.4	2,145.2	2,222.6	2,279.9	2,279.9
昭和53年	68.0	144.9	223.8	338.9	407.1	730.3	832.3	984.6	1,134.7	1,218.7	1,274.3	1,331.7	1,331.7
(平年比)	102.8%	94.1%	77.5%	76.7%	65.3%	70.5%	56.2%	57.5%	59.3%	60.6%	60.7%	61.5%	61.5%
平成6年	56.6	132.0	200.5	389.2	462.0	682.3	740.6	822.7	908.9	935.2	969.5	1,055.0	1,055.0
(平年比)	85.6%	85.7%	69.4%	88.1%	74.1%	65.9%	50.0%	48.0%	47.5%	46.5%	46.2%	48.7%	48.7%
平成7年	51.5	80.2	159.5	433.4	662.0	889.4	1,484.2	1,634.7	1,873.6	1,925.7	1,964.0	1,969.7	1,969.7
(平年比)	77.9%	52.1%	55.2%	98.1%	106.2%	85.9%	100.2%	95.4%	97.9%	95.7%	93.6%	91.0%	91.0%
平成14年	77.6	146.3	279.9	430.6	749.6	932.4	1,186.8	1,314.8	1,404.4	1,486.3	1,555.8	1,660.6	1,660.6
(平年比)	117.3%	95.0%	96.9%	97.5%	120.3%	90.0%	80.1%	76.7%	73.3%	73.8%	74.1%	76.7%	76.7%
平成15年	52.4	122.4	243.4	468.4	620.4	889.4	1,430.4	1,810.4	1,835.4	1,853.4	1,975.4	2,015.4	2,015.4
(平年比)	79.2%	79.4%	84.3%	106.1%	99.6%	85.9%	96.6%	105.7%	95.9%	92.1%	94.1%	93.1%	93.1%
令和5年	78.4	155.4	279.1	466.2	776.5	1,212.9	1,948.2	2,130.5	2,183.8	2,214.4	2,258.2	2,304.5	2,304.5
(平年比)	118.5%	100.9%	96.6%	105.6%	124.6%	117.1%	131.6%	124.3%	114.1%	110.0%	107.6%	106.5%	106.5%
令和6年	46.1	202.7	416.1	628.1	851.3	1,228.0	1,590.3	1,894.8	2,046.4	2,175.6	2,344.0	2,358.6	2,358.6
(平年比)	69.7%	131.6%	144.1%	142.2%	136.6%	118.6%	107.4%	110.6%	106.9%	108.1%	111.7%	109.0%	109.0%
令和7年	18.1	66.7	220.7	295.9	562.5	974.5	1,041.2	1,450.8	1,574.3	1,633.6	1,648.1	1,648.5	1,648.5
(平年比)	27.4%	43.3%	76.4%	67.0%	90.3%	94.1%	70.3%	84.7%	82.2%	81.2%	78.5%	76.2%	76.2%

※平年値は、1991～2020年(30年間)の平均値

平均値は2015～2024(直近10年)の平均値

※九州地方整備局調べ

瀬ノ下日平均流量・瀬ノ下上流域平均雨量（速報値）



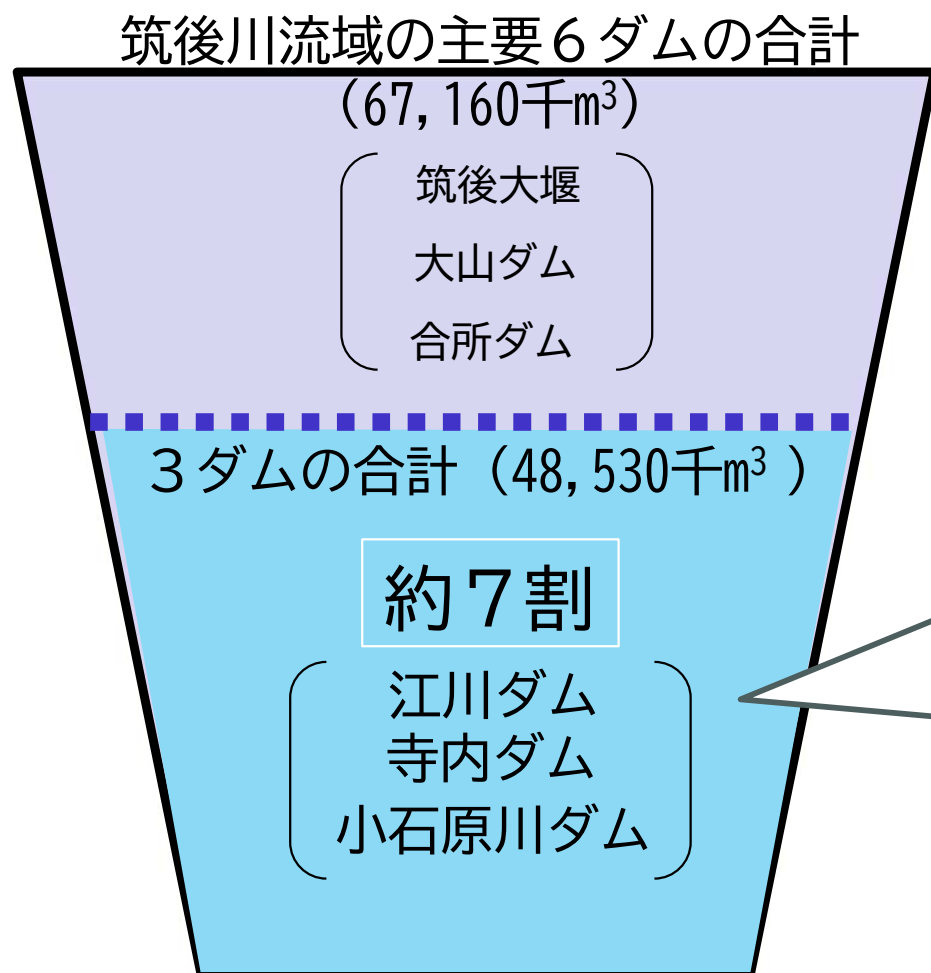
筑後川の水利用の状況

- 筑後川の水は農業用水のほか、工業用水、水道用水、発電用水に広域的かつ多目的に利用されている。



筑後川の水利利用の状況

- 筑後川水系の主要6ダムの利水容量（農業用水・都市用水・不特定用水）は、67,160千 m^3 。このうち、約7割（48,530千 m^3 ）を江川ダム・寺内ダム・小石原川ダムが占め、広域的な水瓶の役割を担っている。



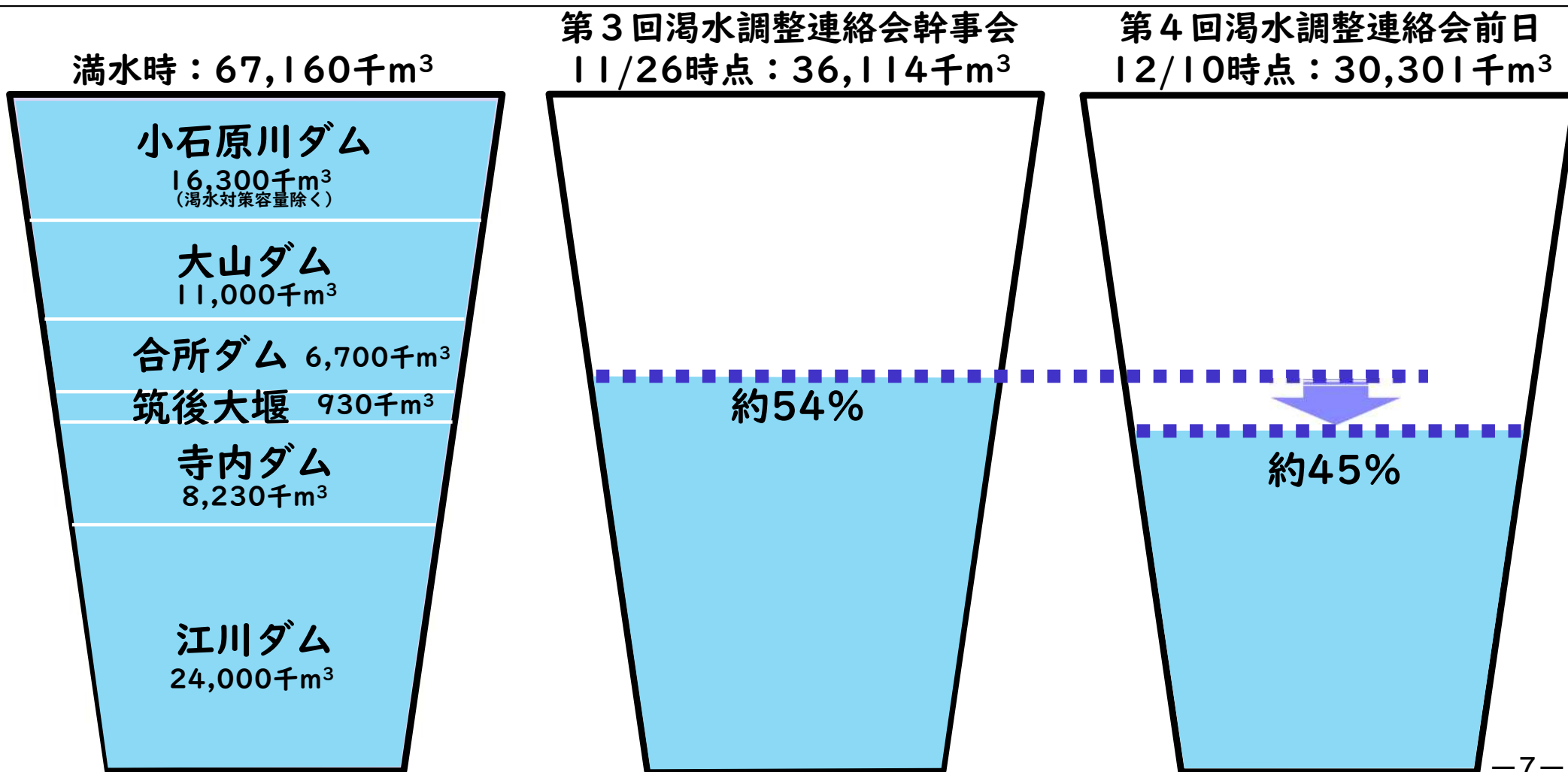
- 福岡市、朝倉市
- 福岡地区水道企業団
- 福岡県南広域水道企業団
- 佐賀東部水道企業団
- 鳥栖市
- うきは市
- 両筑平野用水

※ 渇水対策容量を除く

筑後川の水源の状況①

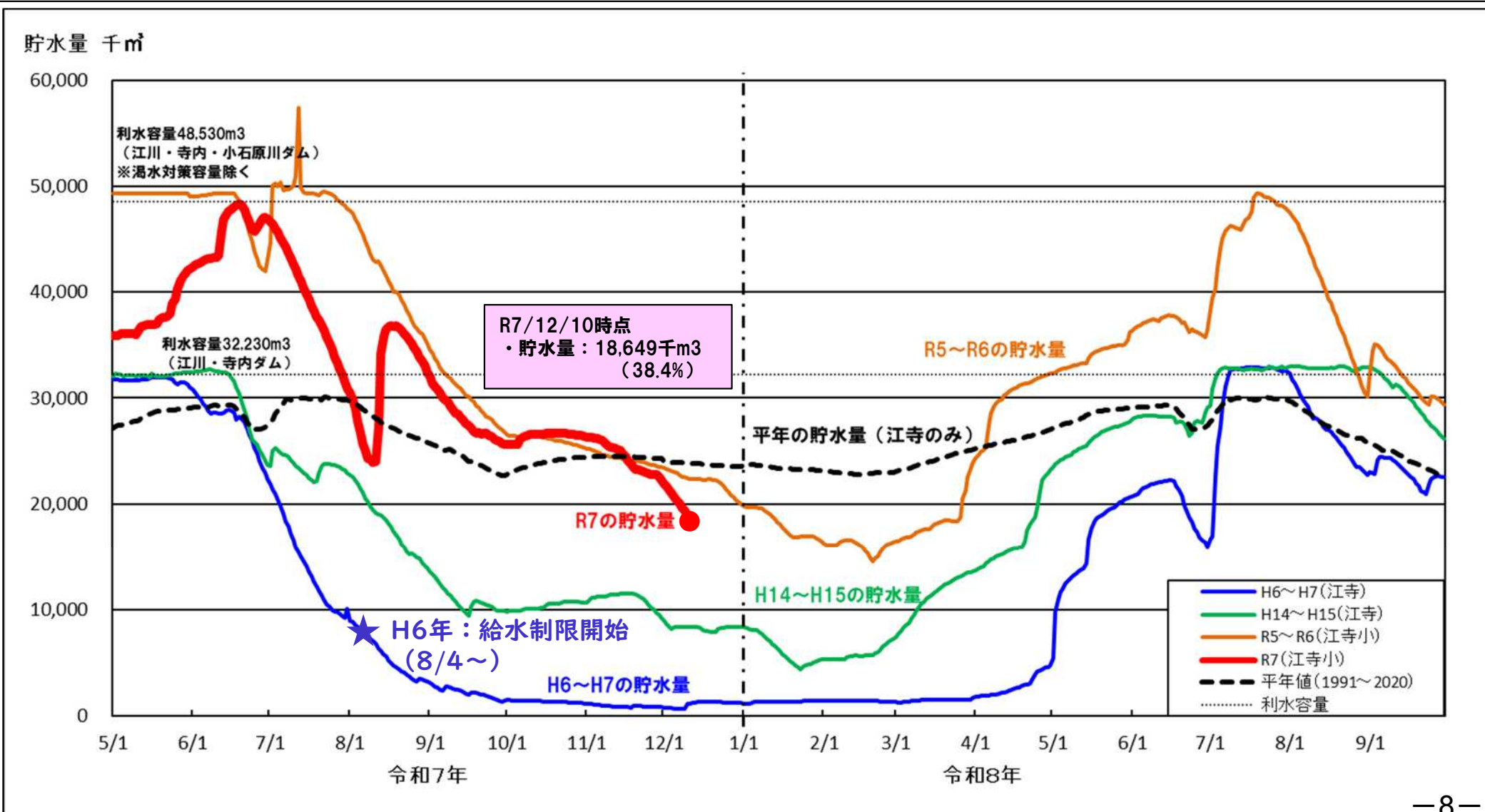
- ダムの完成や渇水調整などにより、平成6年渇水以降は断水など市民生活・社会経済活動への影響は回避。（直近の冬季渇水は令和5年度）
- 現在の筑後川主要6ダム合計貯水量は、直近3ヶ月の少雨により満水時に対し50%を下回り、その水量はダム2個分※1の貯留可能量以下まで減少。
- 後述する今後の天候や流域の水源状況からも、警戒感が高まってきている。

※1:ダム2個分とは、江川ダム(24,000千m³)と寺内ダム(8,230千m³)の利水容量の合計を指す

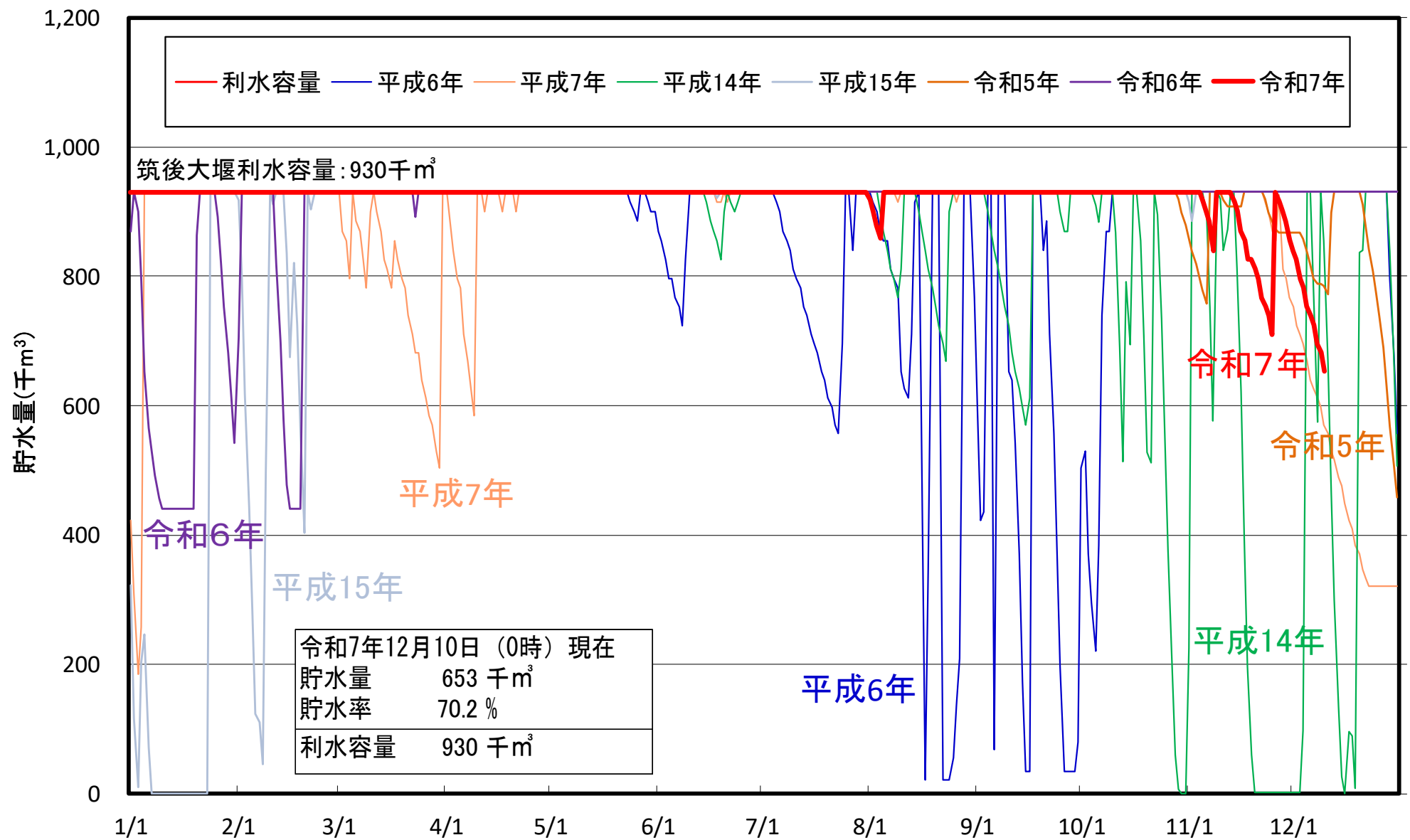


筑後川の水源の状況②

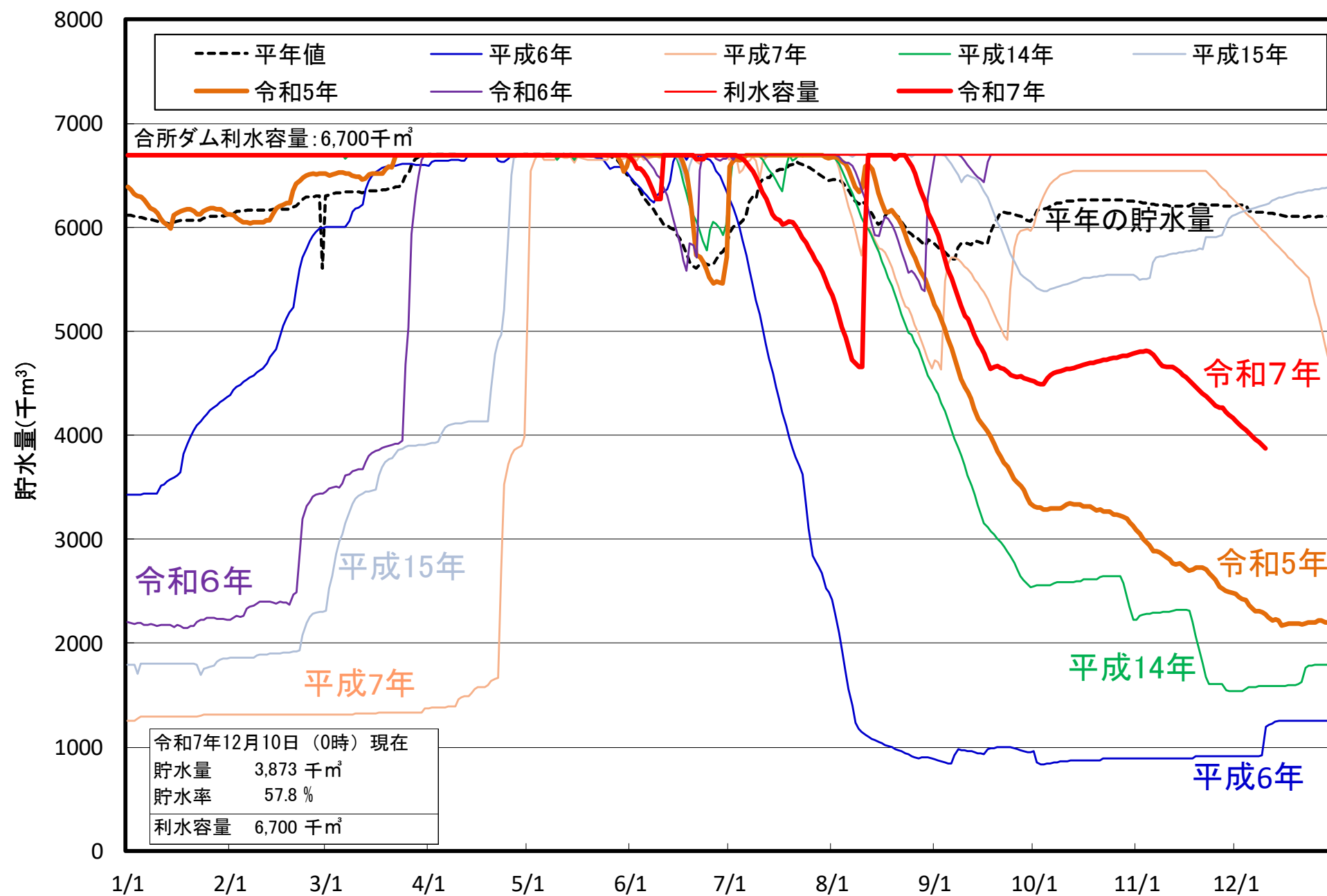
- 筑後川の流況は減少傾向。都市用水等の利用のため、ダムから断続的に補給。
- 同時期の朝倉3ダムの貯水率は、過去最低。（小石原川ダム運用開始後）
- 朝倉3ダムをはじめ、筑後川水系6施設は今後まとまった降雨がなければ貯水量がさらに減少することを想定。



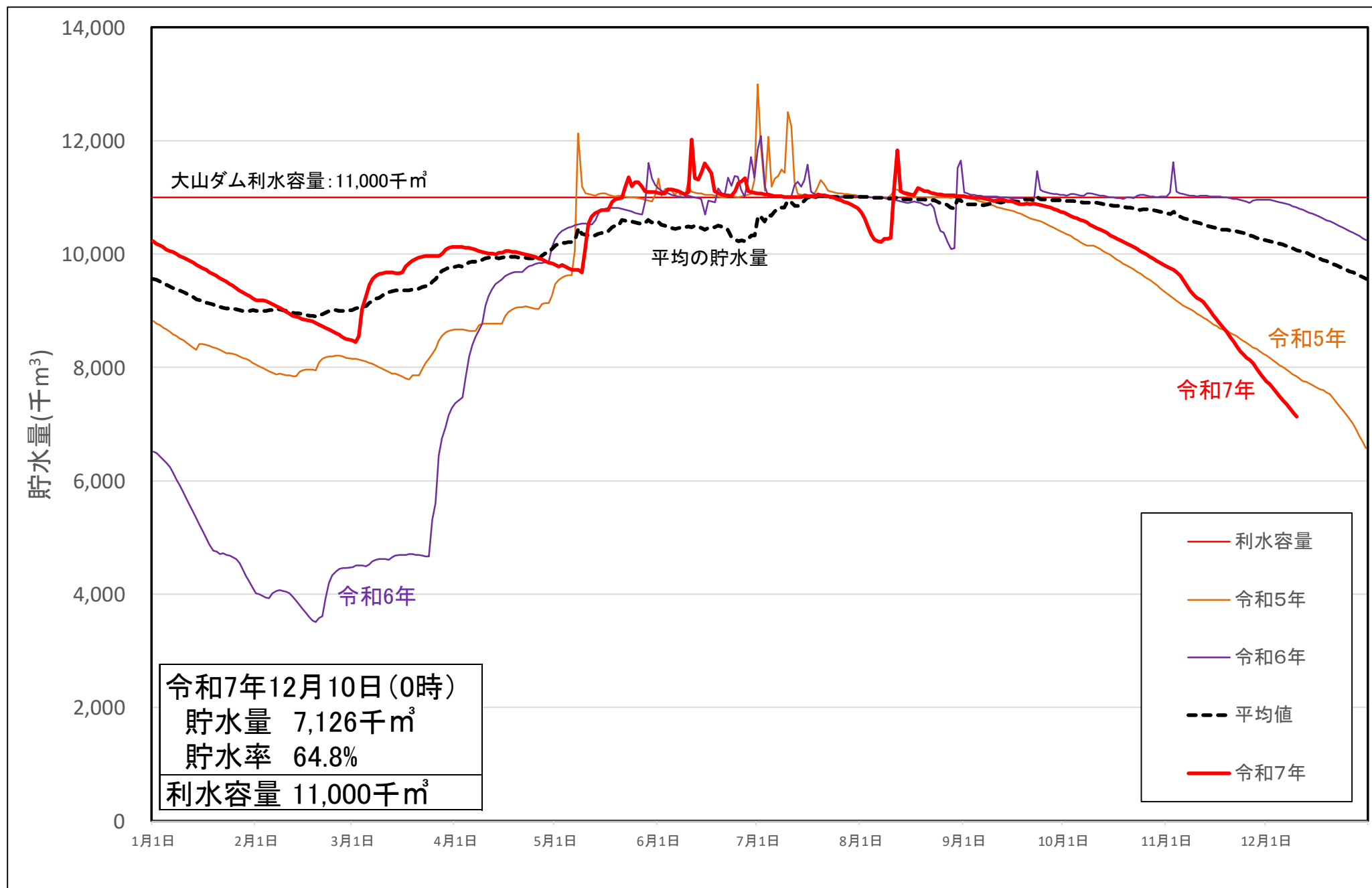
筑後大堰貯水量



合所ダム貯水量

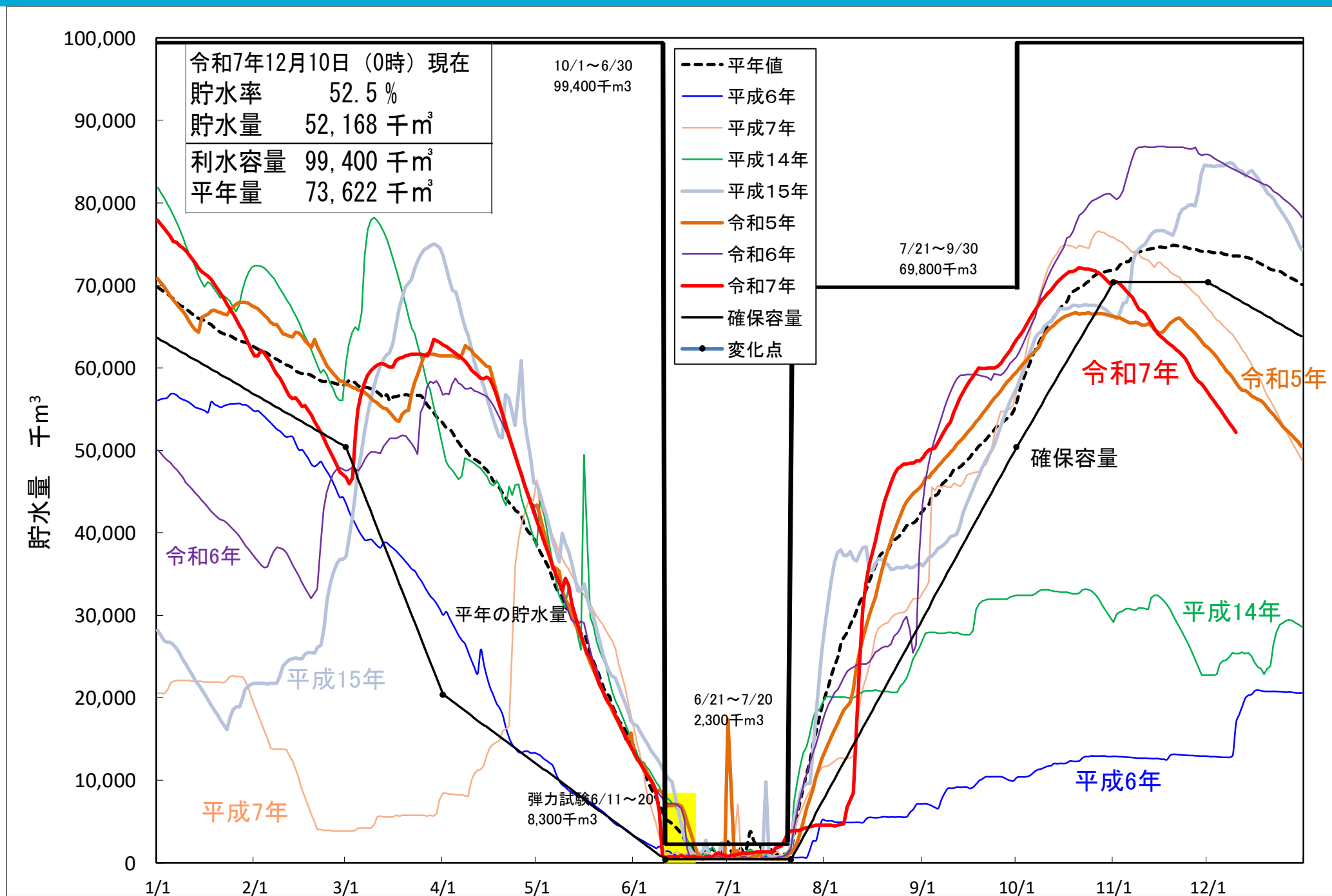


大山ダム貯水量



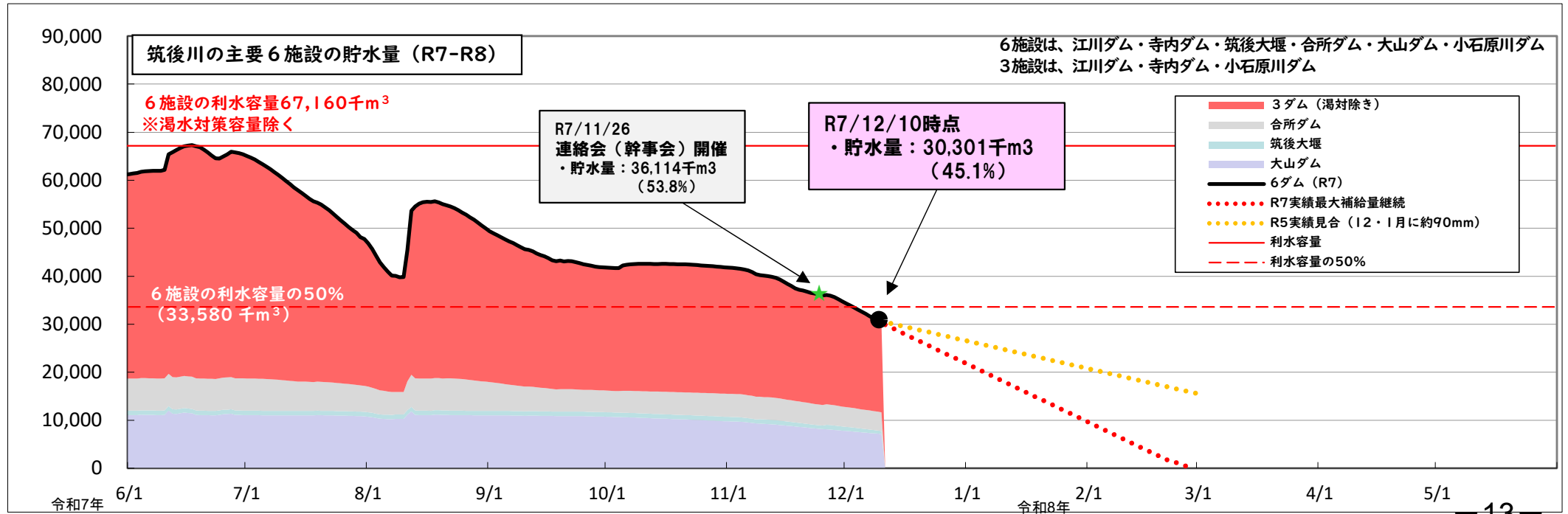
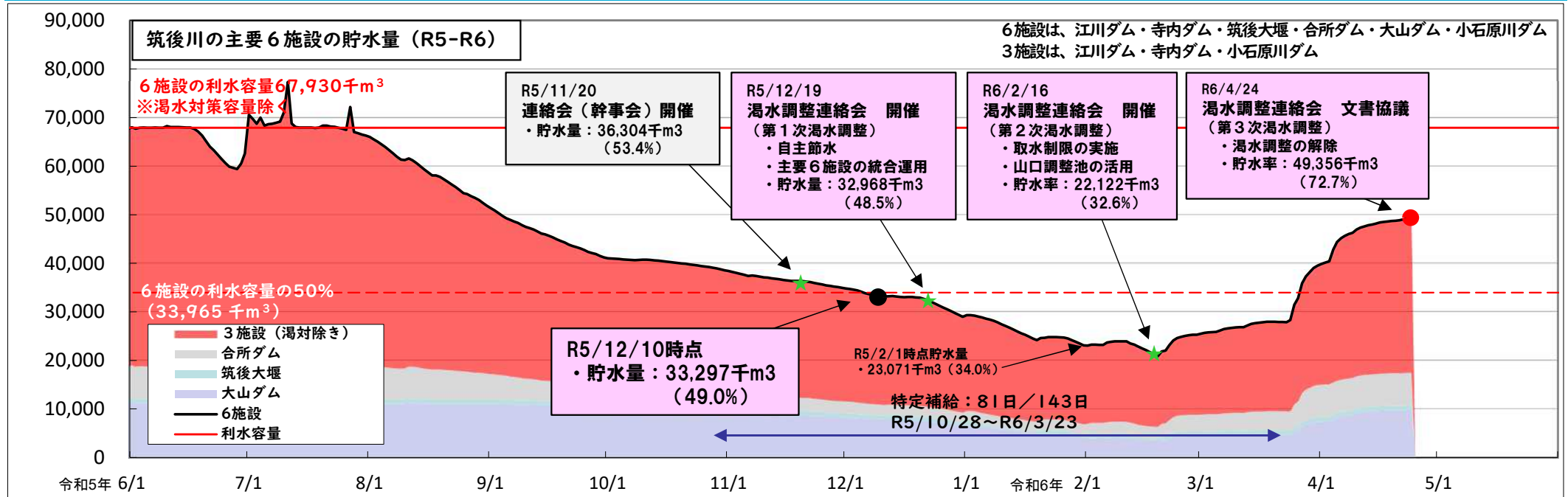
※平均の貯水量は、10か年（H27～R6）の平均の値

松原・下笠ダム貯水量経年変化図



※平年値は、1991~2020年（30年間）の平均値

6ダム（江川・寺内・小石原川・大堰・合所・大山）貯水量変化図

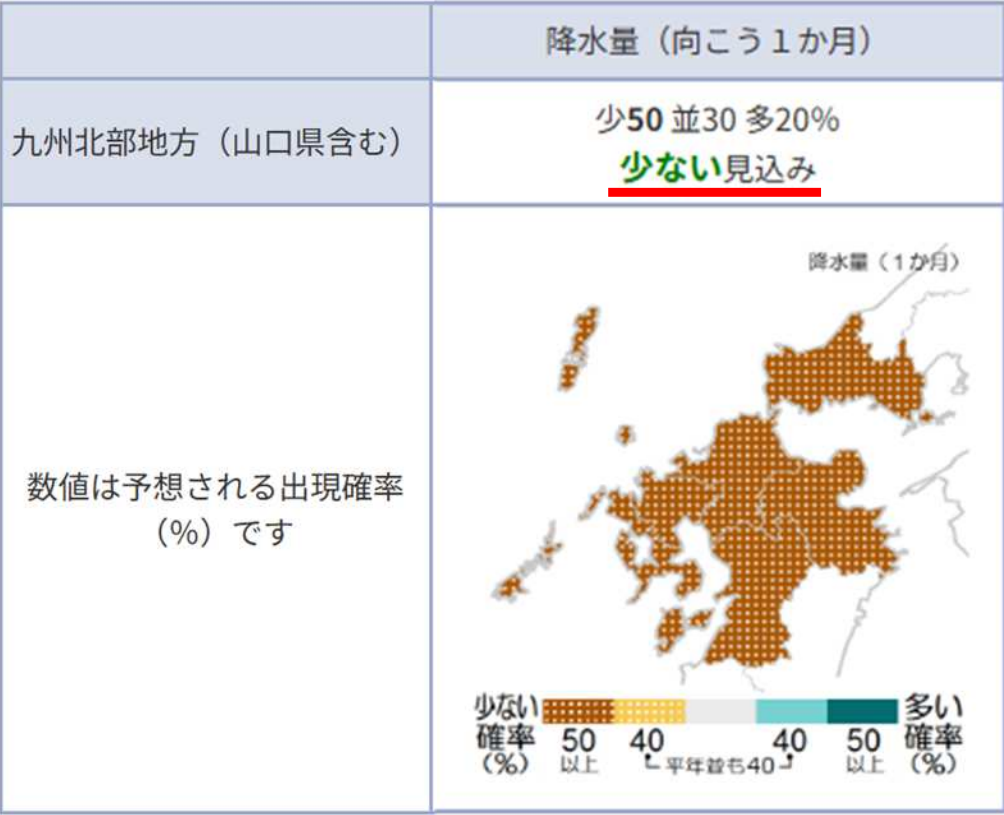


今後の天候の見通し（1か月・3か月予報福岡管区気象台予報より）

■向こう1か月の天候の見通し 九州北部地方（山口県含む）（12/6～1/5）

予報のポイント

- 寒気の影響を受けにくいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。
- 高気圧に覆われやすい時期があるため、向こう1か月の降水量は少なく、日照時間は多いでしょう。



■向こう3か月の天候の見通し 九州北部地方（山口県含む）（12月～2月）

予報のポイント

- 向こう3か月の降水量は、低気圧の影響を受けにくいため少ないでしょう。

